

平成 26 年 4 月 15 日

各 位

上場会社名 株式会社マルタイ  
代表者 代表取締役社長 原田 浩  
(コード番号 2919 福)  
問合せ先責任者 常務取締役 柿本 公之  
(TEL 092-807-0711)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 5 月 9 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ●業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,700	百万円 △450	百万円 △450	百万円 △440	円 銭 △46.04
今回修正予想(B)	7,508	△590	△592	△579	△60.64
増減額(B-A)	△192	△140	△142	△139	
増減率(%)	△2.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	7,400	△72	△44	54	5.75

### 修正の理由

日本経済はゆるやかな景気回復が続いているものの、製品価格の低下傾向など依然としてデフレからの脱却には至っておらず、特に食品業界においては、円安による原材料高や同業他社との競合激化など、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、平成 25 年 1 月に稼働した福岡工場等の建設に伴う減価償却費の大幅な増大で、当初より厳しい収支が見込まれておりましたので、収支の改善を図るため、主力製品である棒ラーメンや皿うどんの販売強化、新製品の市場投入による販売拡大、新規市場の開拓等、売上拡大に向けた諸施策を展開してまいりました。

その結果、棒ラーメンは海外での販売増加があり売上を伸ばすことができましたが、皿うどんやカップ麺は価格競争激化の影響を大きく受け売上を伸ばすことができませんでした。一方で、全社を挙げてコスト削減や業務効率化の徹底を図ってまいりましたが、目標とする売上拡大が達成できなかった上に、営業経費が増大したことで損失額が膨らんでしまいました。

上記の理由により、通期の業績につきましては、売上高 7,508 百万円、営業損失 590 百万円、経常損失 592 百万円、当期純損失 579 百万円を予定しておりますので、業績予想を修正いたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上